

立志論Ⅳ アンケート⑨151120 <質問・意見・感想 (タイプ別)> 1

<タイプ1>

- ・念を入れて過ごそうと思いました。
- ・特別講義では非常に為になる話をしていただきました。星野さんの「ことばの雫」の詩はとても感性に訴えてくるような感じがした。
- ・偉人に共通することは、自分に強い信念を持って継続的に頑張っていること。自分も何か必死に取り組めるものを探したい。
- ・具体的な計画を立てて行動力のある人間になりたい。
- ・最も印象に残ったのは坂本龍馬である。自分の地位よりも他人に地位を与えるというところに感銘を受けた。
- ・安岡正篤は私とはスケールが違うなと感じた。
- ・本多静六が人生計画を作ったことは、人生を全体像と見て、現在のなすべき足元を見つめる意図があるのではないか。一つ一つの積み重ねが重要で、修養の基本であり、鍛錬の方法、手段となり、研鑽する手助けとなる。未来と現在とはぶつ切りにしては、その本当の意味を読み取ることができない。今日の授業で改めて、図解で見ることの重要性を感じることができた。
- ・安岡正篤の「最後まで諦めなければ必ず成功する」という言葉に感動した。

<タイプ2>

- ・野口英世は51歳で亡くなったにも関わらず、千円札になっている。
- ・こんな人生計画を真似できないと思う。
- ・まだ知らない名言があることを知った。映像を観て色々な名言が聞けて、良かった。
- ・調べれば調べるほど、色々な名言を見ることができた。
- ・すばらしい人たちのすばらしい話・言葉を聞き、次回の講義も楽しみにになった。

<タイプ3>

- ・沖縄の話をもっと聞きたいと思った。
- ・名言の暦は一つ一つが深い。何か良い名言を見つけたら、ノートに書き残したいと思う。
- ・特別講義での、記念館の旅は凄かった。是非70館の中で印象に残った記念館やお勧めを教えてください。野口英世の「忍耐」という言葉が良いと思った。

<タイプ4>

- ・「自分の最大の教育者は自分自身である」最後は自分ということなののでしょうか。

<タイプ5>

- ・新渡戸稲造や野口英世は名前くらいしか知らなかった。とても凄い人だと分かった。
- ・「平成」の意味が分かった。
- ・久恒先生の名言はありますか？
- ・人生において一番楽しい時期、一番可能性が高い時期だということ強く理解した。

<タイプ6>

- ・多くの偉人の名言や生き方を知れば知る程一人に絞るのは難しい。自分の考えに近い人を選択すべきなのか自分の考えとは少し違うとしても素晴らしい人だと思った人を選ぶべきなのか？
- ・新渡戸稲造の「武士道」は日本人が書いた本なのに日本語に訳された本であるとは、世界に通じるものがあつたのではないかな。是非読んでみたい。
- ・野口英世に更に興味を持った。
- ・沖縄が独立すると話題になっていることを知らなかったのが、驚いた。「十中八九、自分が動き、手柄は人に与え」「他人にやさしく、自分に厳しく」が印象に残った。
- ・新渡戸稲造の「終生の業はその日その日の業務を完了するより外にない」という言葉に関心を持った。
- ・刀の話で、まさに今、自分は打たれるべき時にあるのだと感じ、これからもっといろいろな経験を積まなくてはならないと感じた。
- ・どの偉人も人生に予定を立てていた。
- ・野口英世はノーベル賞候補になっていたが戦争のために取れなかったのが不運だった。新渡戸稲造は国際連盟事務局次長だとは知らなかった。ベストセラーになった本は、奥さんに贈った本だと知り驚いた。
- ・野口英世は「志を得ざれば再び此の地を踏まず」なのかなと思った。私の座右の銘は、「見送り三振より、空振り三振」です。
- ・安岡正篤さんの「万世のために太平を開かんと欲す」という言葉が良いと思った。生きて行く上で役立たい。

<タイプ7>

- ・新渡戸稲造の「武士道」を読んでみたい。
- ・坂本龍馬の「人の世に道は一つということはない。道は百も千も万もある」という名言は、行き詰ったときに励まされそう。「平成」の由来を知ることができ、驚いた。
- ・自分をコントロールするのは難しい。即非の論理を提唱していた鈴木大拙を書こうと思っている。
- ・本田宗一郎の「人生は『得手に帆を上げて』生きるのが最上だと信じている」という言葉と、坂本龍馬の「人の世に道は一つ、、、」という言葉に感銘を受けた。
- ・プロスポーツ選手の情報を集めている。
- ・自分は3時間睡眠なんてできないと思った。
- ・修業(卒業、終了あり)、修行(終わりが無い)→私は夢に向かって日々修行が必要だと思った。
- ・時間をうまく利用できている人が大人になった時に効率的に生活できて大物になったり、慕われるのだろうと思った。

<タイプ8>

- ・二宮金次郎の言葉が良かった。
- ・自分の事ばかり信じては、視野が狭くなるのでは？
- ・野口英世について興味がある。
- ・本田自動車の創業者の講演会の話が、その通りでかっこよかった。「こんなところに来ている暇があつたら、帰って油まみれになれ」という言葉。
- ・野口さんの生き方から、多くのことを学べる可能性を感じた。
- ・二宮尊徳さんは、「復興開発方法論」を書いた。これを唱え「勤・儉・分度・擁護」の思想は、戦前の日本の模範、倫理観となった。
- ・星野富弘さんに興味を持った。
- ・安岡正篤さんの「人間は学び続けなければならない。学ぶことをやめたら、人間でなくなる。」という言葉から、人は日々学んで生きて行くものなのかと思った。
- ・どの時代にも、時間はいくらあっても足りないと思った。
- ・自分のモデルが決まらず、焦っている。

<タイプ9>

- ・二宮金次郎の言葉に感動した。
- ・坂本龍馬の、「お金より大切なものは評判、評判あるところにお金は集まる。」という言葉にすごく納得させられた。
- ・不可能なこともやり続けて、あきらめなければ、必ず成功すると、今回の名言を見て確信した。
- ・二宮尊徳の、「最後まで諦めなかった人間が、成功しているのである」といった言葉に同感した。
- ・誰について調べるか、そろそろ情報を集めていきたい。
- ・安岡正篤さんの名言はどれも心に響くが、特に「最後まで諦めなかった人間が成功しているのである。」が一番心に響いた。
- ・坂本龍馬の、「金より評判が大事」という言葉に、驚かされた。

<タイプ?>

- ・イチロー選手の情報を集めたい。
- ・新渡戸稲造の名言が印象的だった。
- ・気になったのは、「映画館で...」です。
- ・新渡戸稲造さんの「事の成る成らぬは天に任し、自分はひとえに、その日その日の務めを全うすれば足る」という言葉が印象に残った。一日一日を全て大切にしていきたいと思う。
- ・野口英世はアメリカではエジソンと子どもの頃の貧しい境遇が同じで意気投合している。
- ・今日の講義を聞いて、沖縄のことをもっと知りたいと思った。ビデオで名言を見て、とてもいいこと言ってると思った。
- ・クジラは或る意味、材料として使われることに驚いた。
- ・日本は「神進一匙、仏儒半匙ずつ、という言葉に納得した。この国の宗教と文化との関わりについて、もっとしっかりと知りたいと思う。
- ・映像に、学校には理想を学べる場所と言われたのを聞いて感動した。自分も学校で勉強だけでなく理想を学べればと思う。
- ・毎日睡眠時間3時間だけ。これは想像できない。仕事が集中できないと思う。効率が悪くなる。
- ・二宮尊徳の「道徳なき経済は犯罪だ。経済なき道徳はただの寝言だ。」の言葉で、道徳はここまで大事なのかと思った。
- ・人生の計画をするのは良い事だと思った。
- ・名前を聞いたことがあっても、何をした人なのか知らなかったのが、良い機会だった。
- ・どんな偉人でも、修養、鍛錬、研鑽が大切だということを知った。
- ・野口英世とエジソンが、子供の頃貧しい環境で育ったところで意気投合し仲が良かったというのに驚いた。
- ・図解を書けるようになり賢く考えて行きたいと思った。

- ・野口英世は、「成功の秘訣」を聞かれたとき、「目的・正直・忍耐」と答える努力家で、子供の頃貧しい生活をしていて、自分が持っていたイメージと違い驚いた。
- ・ヘーゲルの言葉は皮肉かかっていて面白い。テッド・ターナーの言葉はカモノハシの話思い出した。沖縄の講義のために何十冊の本を読んだと聞いて驚いた。講義に対する真摯な姿勢に尊敬の念を抱いた。
- ・新渡戸稲造さんの仕事に対する言葉で、「終生の業はその日その日の業務を完了するより外にない」という言葉が良いと思った。今の時代に最も必要な言葉ではないかと思う。
- ・印象に残る言葉が多かった。早く一人にしばって、資料集めを始めたい。
- ・平成が内外、天地とも平和が達成されるという意味があることを知れて良かった。
- ・野口英世はノーベル賞候補だったのに戦争によってその機会が失われたのはもったいなかった。
- ・本田宗一郎さんの人生は「得手に帆あげて」生きるのが最上だと信じている。この言葉を知ってチャンスを逃さないで生きていこうと思った。修養・鍛錬・研鑽を怠らないで、生きていこうと思った。人生はペラペラに過ごさないで、念を入れて過ごしていく。
- ・沖縄の独立→アメリカの基地問題や日本の政治力が頼りないなら当然かも。
- ・時間をしっかりと構成して、一日を過ごすということはとても大切だと思う。
- ・安岡正篤と二宮尊徳の名言が授業を聞いて印象に残った。「平成」という言葉の意味を知れて良かった。
- ・野口英世の、「人類のために生き、人類のために死せり」の言葉は、多くの人々を助ける意見から大きな考えだと思った。